

教科名	外国語	科目名	論理・表現Ⅱ	履修学年	中学・高校	2年	1～9	組	
単位数	2単位	使用教科書 補助教材等	EARTHRI SE English Logic and Expression II Advanced(数研出版)						
担当者	柴山/小野木/阿部		同ワークブック(数研出版) オリジナル映像教材						
学習目標	これまで身に着けたコミュニケーションを図る資質・能力を踏まえ、「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」及び「書くこと」の三つの領域を中心とした発信能力の育成を強化する。特にスピーチ、プレゼンテーション、段落を書くことなどを通して、論理の構成や展開を工夫して、話したり書いたりして伝える又は伝え合うことなどができるようになることを目標とする。①プレゼンテーションでの発信力、発表力 ②豊かな表現による英作文力 ③パラグラフリーディング・パラグラフライティングの技能 の3点を特に意識したい。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	知識:日常生活における様々な場面や、社会的トピックに対する意見、主張を伝える上で必要な、基本構文(文法)が身についている。 技能:未知の素材に対する読解、聴解力が身についている。		実際に生活の中でよく使うような内容の言語材料に対し、ペアやグループでの活動を行いながら、課題解決のためのまとまりのある情報の整理・要約、発信ができる。徐々に社会的な内容に対する意見構築ができるようにする。			日常生活における課題や、社会的問題に対する解決策などを考え、工夫を凝らしながら英語にて発信することができる。			
各観点の授業内 評価方法等	定期考査		定期考査 パフォーマンステスト			パフォーマンステスト			
学期末の 各観点比率(%)	40%		40%			20%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	Part1 Lesson4 How have you been lately?		形容詞のカタマリ			10	中間考査	パフォーマンステスト①
	5	パフォーマンステスト Presentation① グループによるプレゼンテーション「自分の未来予想図」		Part3 Lesson1 Advertising a language school ・パラグラフの基本構成を理解し、分析すると同時に、読み書きの技能を磨く ・主題⇒理由・具体例(指示文)の展開					
	6	Part1 Lesson2 Where do you usually buy things?		動詞の表現			12	期末考査	パフォーマンステスト②
	7	パフォーマンステスト Presentation② グループによるプレゼンテーション「インターネットと私たち」		Part3 Lesson2 Inventions and discoveries ・パラグラフの基本構成を理解し、分析すると同時に、読み書きの技能を磨く ・主題⇒列挙の展開					
	8								
2	9	Part1 Lesson3 International events and cultural exchange		名詞のカタマリ			9	中間考査	パフォーマンステスト③
	10	パフォーマンステスト Presentation③ グループによるプレゼンテーション(時事問題を含めてテーマ決定)		Part3 Lesson3 How people use their smartphones? ・パラグラフの基本構成を理解し、分析すると同時に、読み書きの技能を磨く ・比較、対照の展開					
	11	Part1 Lesson5 How do you watch movies and things?		副詞のカタマリ			12	期末考査	パフォーマンステスト④
	12	パフォーマンステスト スキット(ショートドラマ)作り		Part3 Lesson4 Our accommodation in Okinawa ・パラグラフの基本構成を理解し、分析すると同時に、読み書きの技能を磨く ・原因、結果(因果関係)の展開					
3	1	Part2 Lesson1 Making life better		感情表現			12	学年末考査	パフォーマンステスト⑤
	2	パフォーマンステスト Presentation④ グループによるプレゼンテーション(時事問題を含めてテーマ決定)		Part3 Lesson5 Getting ready for high school exams ・パラグラフの基本構成を理解し、分析すると同時に、読み書きの技能を磨く ・時間的順序のディスコースマーカー					
	3								

教科名	英語	科目名	英語コミュニケーションⅡa/Ⅱb	履修学年	高校	2年	1～9組		
単位数	3(Ⅱa)+1(Ⅱb)	使用教科書 補助教材等	ELEMENT 教科書・サブノート・ワークブック Standard/Advanced (啓林館)						
担当者	疋田 柴山 Marriott Wnnett		Engage(いいずな書店) Smart Reader(いいずな書店) SDGs英語長文・進研WnstepⅡ						
学習目標	以下3点を意識し、大学入試に対応できる英語力を育成する。①音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を4技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。②日常的话题や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や聞き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。③英語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面に応じ、日常的话题や社会的な話題について、聞く・読む・書く・伝える技能を身に付けている。		コミュニケーションを行う目的や状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、読み取り、要点を捉え、また情報や考えを論理性に注意して話したり、書いて伝えている。		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
各観点の授業内 評価方法等	Ia: 定期テスト・朝テスト Ib: パフォーマンステスト(Speaking/Listening) Ia, Ib: 授業内の言語活動		Ia: 定期テスト Ib: パフォーマンステスト(Speaking/Listening) Ia, Ib: 授業内の言語活動		Ia: 宿題・振り返りシート Ib: パフォーマンステスト(Speaking/Listening) Ia, Ib: 授業内の言語活動・授業態度				
学期末の 各観点比率(%)	40%		40%		20%				
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	ELEMENT I Further Reading 2 Lesson 7 Technology and Discoveries						1 学期 中間 考査	
	5	English communication Ⅱb ①Speaking test							
	6	Lesson 2 Standing Up for Human Rights							
	7	English communication Ⅱb ②Listening test SDGs英語長文(Lesson4)							
	8								
2	9	ELEMENT II Lesson 1 Culture around the World Lesson 2 Power of Words						2 学期 中間 考査	
	10	English communication Ⅱb ③Speaking test							
	11	Lesson 3 Preconception Lesson 4 The Century of War							
	12	English communication Ⅱb ④Listening test SDGs英語長文(Lesson5)							
3	1	Lesson5 How Our Minds Work						学 年 末 考 査	
	2	Lesson6 It and Life English communication Ⅱb ⑤Speaking and Listening test							
	3								

教科名	外国語	科目名	英語演習	履修学年	中学・高校	2年	1・3・6	組	
単位数	3単位	使用教科書 補助教材等	Front Runner 2						
担当者	疋田 阿部(苗)		Front Runner 3 共通テスト 大学入試過去問・予想問題など						
学習目標	長文問題を時間内に解けるようにする。パラグラフリーディングを取り入れ、段落展開を意識して読む習慣を身に着ける。要約(日本語・英語)もできるようになる。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	知識: 長文読解に必要な、語彙力、文構造理解につながる文法が身につけている。技能: 未知の素材に対する読解力が身につけている。		長文の内容だけでなく、構成を理解した上で、key words/key sentencesを見抜き、情報を処理し、要約できる。			テキストの単語、本文の音読練習			
各観点の授業内 評価方法等	音読 ライティング		ライティング			ライティング準備			
学期末の 各観点比率(%)	20		60			20			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2
1	4	Front Runner (Lesson1つを2コマで行う) ①各自問題解答 ②ワークブック Wbr ds&Phrasesの穴埋め+Wbr d Hunt ing							
	5	③問題答え合わせ+Paragraph Map ④Summary(生徒同士で交換して添削)							
	6	Front Runner (Lesson1つを2コマで行う) ①各自問題解答 ②ワークブック Wbr ds&Phrasesの穴埋め+Wbr d Hunt ing							
	7	③問題答え合わせ+Paragraph Map ④Summary(生徒同士で交換して添削)							
2	8								
	9	Front Runner (Lesson1つを2コマで行う) ①各自問題解答 ②ワークブック Wbr ds&Phrasesの穴埋め+Wbr d Hunt ing							
	10	③問題答え合わせ+Paragraph Map ④Summary(生徒同士で交換して添削)							
	11	長文問題 共通テスト 形式+大学入試過去問							
3	12								
	1	長文問題 共通テスト 形式+大学入試過去問							
	2								
	3								